

平成27年3月18日

東京都知事

舛添 要一様

東京商工会議所目黒支部

会長 佐藤 與治

目黒区商店街連合会

会長 上原 晃道

一般社団法人 目黒区産業連合会

会長 團村 守男

2020年 東京オリンピック・パラリンピック  
競技大会の競技会場についての要望

東京都知事 舛添 要一様には、日頃より目黒区の環境整備と地域産業経済の活性化にもご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、皆様のご努力によります2020年 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を迎えられますことは、単にスポーツの振興や国際交流、そしてスポーツを通して障害者との相互理解を生み出すだけでなく、地域の経済やコミュニティーの活性化にも役立つものと期待しております。

私たち目黒区の産業3団体も、区との連携にも努め、区内の産業振興と観光資源を活用して「住みたい街 目黒区」を目指して日々活動しております。

そうした中、昨年12月のIOC臨時総会では「アジェンダ2020」が決定され、「既存施設や仮設会場の活用推進」が提言されました。目黒区にも、1964年の東京オリンピックで正式競技会場となった駒沢オリンピック公園競技場や、いくつかのスポーツ施設があります。

そこで、目黒区の既存施設を活用いただき、産業や観光の振興、そして同時に地域の人々に夢と希望と感動を与える絶好の機会とするため、目黒区におきましても競技を開催いただけますよう、要望いたします。

つきましては、今回の要望の趣旨をお汲み取りいただきまして、お力添えいただけますようお願い申し上げます。

以上